



Rotary International District 2800 山形西ロータリークラブ会報

会長：東海林 健登 幹事：武田 岳彦

地区目標

中核的価値観のもと、時流対応の時
～奉仕の心の醸成と実践するロータリアン～

クラブテーマ

ロータリーの価値を改めて考え、そして楽しむ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

◆点鐘：東海林健登 会長

◆ロータリーソング：なし

◆司会：浦山 潔 S.A.A.

◆会場：山形グランドホテル



Yamagata West Rotary

第2920回例会

令和3年9月6日(月)

会長あいさつ

東海林 健登 会長



今月9月は「ロータリーの友月間」であります。雑誌月間の廃止に伴い2015年～16年度より、日本独自に9月を「ロータリーの友月間」としたのだそうです。『ロータリーの友』は昭和27年4月、第60区の大

会にて新年度から日本の地区は東日本と西日本の2つに分割されると決定されました。そこで、この地区大会で日本の2地区で共通の雑誌を発行することが決定されました。『ロータリーの友』は、これまで共に活動してきた日本のロータリアンが、分割されてからも綿密に連絡を取り合い、情報を共有するために機関紙として企画されたのだそうです。

8月号の『ロータリーの友』にはこんな記事が載ってありました。「日本のロータリー100周年を深く祝う会」の記事であります。昨年10月で日本に最初のロータリーが来て100周年を迎えました。この記念すべき筋目に盛大にお祝いをしようと2016年に「日本のロータリー100周年実行委員会」が組織され、式典、記念事業の準備を進めてきましたが、新型コロナウイルス感染症流行の影響によって、オンラインでの開催となったこと、その基調講演として日本ロータリーの100周年を祝う会委員長、元RI理事千 玄室様による演題「果たしてロータリーは？過去・現在・未来」という講演録が記載されております。

1920年に東京ロータリークラブが設立されて以来、ロータリークラブは紳士の道場であり、今後もそのロータリーというものの根本精神である奉仕の意味、哲学を、会員同士で互いに語り合い、理解し合っていたきたい、と私は理解しました。皆さんはどのようなご理解をなされたか、とても興味深い記事でありました。

最後になりますが、『ロータリーの友』9月号、63ページの「俳壇」の欄に、我がクラブのメンバーの戸田正宏さんの句が、巻頭に掲載されております。「大仏の手のひらに 峰雲の 立ちにけり」。

皆さま、ご一読いただければと存じます。簡単ではございますが、会長挨拶とさせていただきます。

幹事報告

武田 岳彦 幹事

- 米山功労表彰を地区のほうからいただいております。市村清勝さん、飯田喬之さん、東海林健登会長です。おめでとうございます。
- 山形中央ロータリーさんの事業で、被爆ピアノコンサートという案内が届いております。開催は10月2日、山形テルサ、鑑賞は無料です。興味のある方は事務局にパンフレットがございます。是非お持ちください。
- 10月17日、変更例会として予定されていた地区大会が、来年の4月29日に延期となりました。コロナの影響です。よって、この週は例会はございません。コロナの対応を余儀なくされておまして、年間スケジュール多々変更になっております。お間違いのないようよろしくお願いいたします。
- この例会で湯殿山神社の澁谷宮司からご祈禱いただき、そのときのお守りを皆さんのネームプレートの棚に入れておきました。こちらのほうをお持ち帰りいただければと思います。
- 本日例会終了後、理事会を開催いたします。理事メンバーの皆さまはお残りください。また、今日以降の例会の開催などについても本日の理事会で話をいたしますので、FAXの案内等をよく見ていただいて、お間違いのないようご協力をよろしくお願いいたします。
- 今月のロータリーレートは110円です。



市村清勝さん



飯田喬之さん



東海林健登会長



コロナ「後」は どうなる？

齋藤 弘 氏

公立大学法人国際教養大学
国際教養学部 客員教授

今日は『「コロナ後」、どうなる』というお題を頂戴して、これについてお話す前に少し足元のそのコロナの状況を、今朝アップデートしてきましたので見てみたいというふうに思います。これは1週間の移動を平均すると、8月の下旬頃から今にかけて少し頭を下げてきたような状況ですので、全体としては安心がちょっと見えてきたかなという感じです。

重症者数も少し減ってきました。死者数は遅れてそういう状況になるんだろうと思いますけれども、9月4日時点では圧倒的にやっぱり20代の方が多いですね。我々60代、50代、70代、80代の最初の頃にワクチン接種を行なったという効果も出ているのか、実行再生産数っていうのは1人当たり何人に感染させちゃうかっていうことなんですけど、9月4日時点では0.84ということですから少しこれも下がってきたということで、ワクチン接種率がだいたい1回は6割、2回は5割ぐらい日本全国で行き渡ってきたので、さすがにデルタ株になっても状況は良くなってきているかなと、これが今の足元であります。これ、私の見解ではなくてデータそのものであります。

さて、「コロナ後」のお話ですけども、まず、コロナが我々に突き付けた現実というのが2つあります。1つは、今まで遅滞として進まなかった事柄が加速度的に進まざるを得ないような状況になってきた。もう1つは、「首長なんて誰がなっても所詮おんなじだから」と思っていたところ、「いやいやいやいや、首長の力量、決断次第で自分の命がもしかしたら左右されるかも」という思いが変わらざるを得なくなったというのが今なんだと思います。

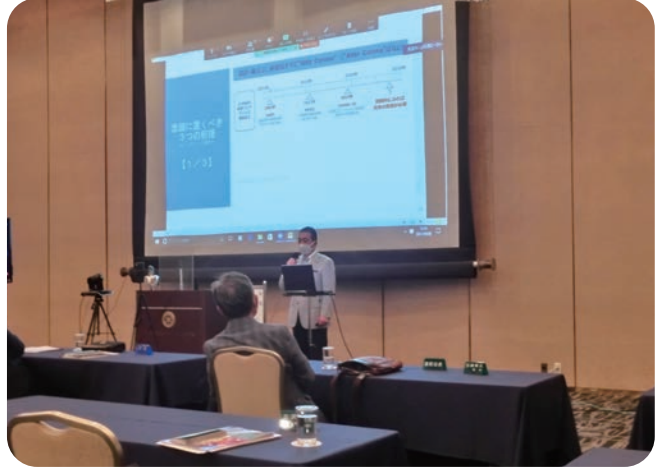
しかし今日はこちらの話が3つあります。結論から先に言います。パンデミックは再来します。それから、何よりも地方が大切になります。そしてデジタルトランスフォーメーションと言いますが、世の中とにかくいろんな今の現代的な技術を使って変えていこうと。こういうことができるのはやっぱり我が国しかありません。なぜかというのの後で申し上げます。「信頼」がそのキーワードとなります。

見てください。ほぼ周期的にパンデミックは起きています。今回も2020年でパンデミックが起きたわけですが、必ず来ます。ですから今日のタイトルの「コロナ後」に、あえてカギカッコを付けさせていただきましたが、コロナ後というのはありません。ないということを前提にして物事を進んでいこう方がいいと思います。

なぜかと言うと、最初のコロナ、2000年前後は中国はたいしたことなかったんです。今、もうその10倍ぐらいの経済力、防衛も含めて国力を持っています。中国の影響力というのはやっぱりすばらしい大きいものがある。人口減少で若い人が減っている時代になりましたけれども、パンデミックの再来も必ずあるんだということを前提にして物事を考える必要があります。

やっぱり日本というのはコロナに関しては、いろいろ政治的に批判もあるでしょうが、まだうまくやっていると。

世界から見ればですね。そういう評価をしていただいたほうがいいのではないかと思います。それで、コロナはやっぱり明らかに都会現象です。ここは山形県です。これは9月3日時点での数字ですけども、大都会に比べて、みちのく山形はまだ大丈夫なんですよ。それで、最初に慌てふためいて全国に一律に緊急事態宣言など出しましたが、これはもしかしたら必要なかったのかもしれないね。それぞれの地域に応じてやればよかったのではないかと、改めてそれは失敗から学ぶということなのではないかと思えます。



コロナ禍の光と影というのを見てみると、ライフ・ワーク・バランスとか、それから都会と田舎に住んでみるとか、押印文化を見直したほうがいいんじゃないとか、ハンコを押すために出社することをやっぱりやめようじゃないかと、そういうことですね。パンデミックは再来する。そして地方ももう明らかに都会よりも安全だっていうのがわかった。そうするとやっぱり地方の時代だということがもう明らかにこれはわかっています。地方創生っていうのは進まなかったんです。だけどこれからは違うと思ったほうがいい。

2030、2050。何なのか説明します。これは国連が出した2030年までのSDGsターゲットでありますけれども、これはいったい何なんだ、そして2050は「E C」と書いてありますが、サーキュラーエコノミー、つまり循環型経済へ転換しないともう世の中はもちませんよっていう話です。

その本質っていうのは何なんだ。あらかじめ言っておくと、解はありません。誰も正解なんて持ってないんです。自分でやって考えていく。しかし、こんなことをやりましたよっていうようなことをみんなにちょっと聞いてもらって、ディスクロージャーですね、それを多くの人が見て、いろいろ評価があると思います。その評価を株価の下落とか上昇とかにつなげていく。それで自分で循環させていくわけですね。お金も必要です。銀行もこれに対しては融資をする。それをチェックして、銀行に対して有利な融資をするということでも踏み込んでやるような時代になってきました。制度としてももうできあがっています。

本質はやはり資源です。80年代はだいたい40億人ぐらい世の中にいたものを、その10億人、2割ちょっとぐらいがG7で占められていました。2010年代になって、60億人に地球の人口が増えて、その半分ぐらいがG20で占められるようになってきました。ところがやっぱり2040年代を展望すると、人口は90億人ぐらい、かつての80年代の倍。6割ぐらいが我々の先進国も含めて消費に費やすってわけですよ。これは地球があともう1つないどダメだずってというのが本質です。地球2つ分の資源がな

いと、もうもたない。

山形県なんてみんな家族1台持ってる自動車。全国では1人あたりに1.3人ぐらいしか乗らないんだそうです。それで走行距離、全体で1日の稼働率が2%ぐらいですね。

2番目のフードロスというのは食べられるものが食べられないで捨てられるということですね。これは食料援助の倍、日本の米の生産とほぼ匹敵するぐらいの食糧が捨てられている。食品の中にはいろいろ流過程ありますよね。生産で、規格外商品だ。流通で、箱がつぶれた。小売店でも、季節を過ぎたら買わないですよ、恵方巻なんて。

レストランでも食品ロスは多々あります。ドタキャン、発注ミス、食べ放題なんか、あれはもうロスの典型みたいなもんですよね。こういうところでロスが起きます。ご家庭でも「賞味期限切れ、忘っでだっきゃ。冷蔵庫の奥さあんのなんかわがねっだな」と、こういう状況ですね。

ファッションだって、衣替えで女性がだいたい15点、男性が6点ぐらいもう捨てるんだと。これは機会損失にすると2兆6千億円なんです。なので、30年まで必要なことってというのは、これはもう大変忙しいわけですが、ちょっと注目してみます。

生活。マスク、ネット利用、今日もこうやってZoom配信になっていますが、大都市にいなくても地方でもなんとかできるでしょ、だけど巣ごもりのいろんなことは整えておかないとね、っていう気持ちになってきます。

地方でも大都市並みの収入で仕事ができるような世の中にならないと。それを支えるためのデータ情報網を整備しているのが、全国できちんとやらなきゃいけないんじゃないかと。これをするためにデジタル庁できました。

働き方改革、テレワーク。営業活動もやっぱりスタイルを変えざるを得ない。押印出社。でも一方で、リアルで営業する、お客さんの顔を見る、仲間の顔を見ながらいろいろやるのも、重要だねっていうことを逆の意味でわかってきました。

そして経済でも、サプライチェーンもだんだん日本に回帰してこようという動きが出てきています。

さて、2050年までに必要なことはこんど循環型エコノミー。資源投入して、物を作って、物を買って、物を使って、いらなくなったら廃棄するっていうのがこれまでの経済活動でした。だけど、資源は地球2つ分ないともうもたないよね。人口が倍になって、地球上の人口が増えて、環境汚染、気候の変化、明らかに環境の変化ですよ。なので循環型というのを考えていく必要がある。製品はどう使うのか。どう捨てられるのか。廃棄する時の責任は誰が持つのかという、作る人の責任というのはものすごく拡大するんです。そういう法整備まで展望しないとイケないような状況になってきました。

それからもう1つ、リーダーの皆さんを超えていっていただきたいのはこのZ世代ですよ。要するに若者です。Y、Z世代の人たちがこの世の中の中心になるということですね。

今までは金融機関でも当局をヘッドに、そこにいろんな地方銀行協会とか、都市銀行協会とか、協会をばさんで銀行がピラミッド型だったんですね。金融政策ももうこんなことやってません。もうみんな、重要なプレーヤーにはなりませんけど、市場の一員としていろんな金融調整をやっています。

メーカーや卸でも、問屋があり、小売りがあり、消費者があったっていうピラミッド構造でしたけど、今やもうそんなこと関係ないですね。みんながどう思っているのかをメーカーも卸も小売りもみんな知らないで成り立たなく

なっている。

さて、じゃあ新しい世界観ってどんなのでしょうか。やっぱり知恵のある人の言うこと聞かなくていいですね。ジャック・アタリさんはフランス政府の知恵袋です。パンデミックが起きると、権力の変容が起きるんだ。15世紀もペストが発生、猛威を振るった時に、それまで教会が権力者だったのが、治安当局になり、それを解決できる科学者、団体がその力を持つてくような時代があった。日本は国力を高める可能性があるんだ。我が日本は、知力、技術、慎重さ、すべてを持った国なので、このコロナ禍ではやっぱり日本が国力をつけてくるだろうと、他国の人がはっきり言っています。

さらに信頼です。国際政治でも米中対立、サプライチェーンの見直し、消費者も安くて悪くないものを買いたい。これを一気に達成できる国っていうのはもう日本以外にありません。

そして最後にデジタルトランスフォーメーション、効率化なのか、今まで手作業でやってた、人を使ってやってた労働集約的なことが機械に置き換わるだけなのか。実はDXこそが、デジタルトランスフォーメーションこそが国民の生命と財産を守ることに直結するんですよ。

シリコンバレーというのはお聞きになったことがあると思いますけれども、メディコンバレーはお聞きになったことはないと思います。デンマークとスウェーデンの国境のところに、情報を集めて共有し、その共有する情報が欲しくて企業が集まって、病院、学校、その地域だけでGDPを20%も稼ぎ出すという地区が世の中に存在しています。20%というと日本のGDPが約500兆円ですから、100兆円稼ぐということになるんですね。デンマークでは、赤ちゃんがおぎゃーっと生まれて天寿を全うするまで、その人の電子データをずーっと生涯かけて国が持ち続けています。

赤ちゃんが生まれると、かわいそうにね、赤ちゃんの足のかかととところにちょっと傷つけてます。そして血を採る。こういうその生まれたばかりの赤ちゃんの血を採って、そのデータを冷凍庫の中に入れて、ずーっとその赤ちゃんが大きくなって死ぬまで取ってあります。もちろんその間病気になったり、何とかの薬を処方された、それも全部データ化されます。それで天寿を全うしたときにその死因を調べます。それを全部紐づけて、健康と医療に役立てている国があるんですよ。

ロールス・ロイス社。まさか未だに「ロールス・ロイスの車作って、飛行機のエンジン作って、そういう会社だよな」なんて思っている人はいらっしゃいませんか？ロールス・ロイス社は、このエンジンのところにいろんなデバイスを全部埋め込んで、それで飛行機飛びますよね、



ニコニコBOX

〈9月6日〉

東海林健登会長／齋藤弘様にお越しいただき、例会を開催できることにニコニコいたします。

市村清勝会長エレクト／山形市建設工事優秀技術者表彰受賞
9月1日弊社社員が受賞致しました。社員の成長をととても嬉しく、頼もしく感じたのでニコニコです。

戸田正宏さん／齋藤弘先生をお迎えて

私がプログラム委員長になり、真っ先に卓話をお願いしようとした人です。グローバルな話題の豊富な方ですので、きっと皆さまにも喜んでいただけるものと思います。今月のロータリーの友 俳壇に私の句が、巻頭に掲載されました！快挙です！

新藤幸紀さん／齋藤弘様をお迎えて

本日の例会、卓話の講師として齋藤弘様にお出でいただきました。ありがとうございます。

佐藤章夫さん／戸田さんの俳句

戸田正宏さんの俳句がロータリーの友の巻頭に取り上げられていました。すばらしい。嬉しくてニコニコします。

飯田喬之さん／県展に入選して

県展工芸の部で、4回目の入選に感謝してニコニコします。9月26日頃です。ぜひご覧ください。

角田健さん／月山初登頂!!

8月初旬、長男と一緒に月山に登りました。青天にめぐまれ、12年に一度の「出羽三山丑歳御縁年」の年で残るは羽黒山参拝。小学校の蔵王登山以来の登山で、心と身体にパワーをいただきました。御礼、月山。



飛行機飛んだらどういう気象条件でどのルートでA地点からB地点にどのようなことで飛んだかというのを、ありとあらゆるデータを集めて、それを蓄積し、飛行機会社に対してこの条件だったらこういうことをしたほうがいいよというデータ売り屋さんですよ。

iPhone。これがその携帯電話の電話機だなんて思っている人はいませんよね。8月29日、つい1週間前の日経新聞。鴻海精密工業のテリー・ゴウ社長が言っていました。「電気自動車なんてiPhoneに車4つ付けたようなもんじゃねえか」こういう発想ですよ。

エアコン、各ご家庭にあると思いますが、「まーた調子悪いな。ガス抜けだのんねが？んだら新しいのと替えらんなねっだな」と言ってですね、市村工務店さんに駆け込むとかですね。そんなことないですよ？ダイキン工業では、使った分だけモバイル決済で料金を支払う。8月29日の日経に出ていました。世の中もうガラッとすでに変わり始めています。

フードロスだってただじゃ起きない。できることからどんどんやり始めましょう。セブンイレブンも値引きするんです。

スターバックスも、閉店前に値引きOKというゴーサインを8月20日ころに出したというニュースが出てました。それで食べてという、実はその後にもあって、レストランで作り過ぎて余った分を値引きして販売するサイトを設けて、そこに若者がどーっと行って自分で取りに行く。こういうマッチングをしてくれるサイトももう出ています。

今日は金融機関の方いらっしゃるか、Zoomでもいらっしゃるかどうかわかりませんが、誤解を恐れずに言えば、金融機関はもう全部スマホで決済するようになってないと、もう相手にされません。山形銀行さんも荘内銀行さんもきらやか銀行さんもそうです。全部顔認証で入出金できる。イオングループはもう一括アプリで自分のところで、一括アプリですから商品を選んでデリバリーして決済するという、そういうことを全部ネットで行えるようにすると言ってます。8月26日にこれは記事が出ておりました。

「マイナンバー、使い勝手悪い、使い勝手悪い」みんな言って、でも実際に使ってみた人どのぐらいいますかね。最近ずいぶん改善してきましたよ。自分の年金全部見れる。iPhoneから。携帯から。自分の所得も見れます。健康保険証も自動車運転免許証もあと数年で自分の携帯の中に取り込まれる。デジタル庁。だから意外とマイナンバーカード、マイナンバーアプリですね、これ馬鹿にしているようでこれからかなり重要ですので、皆さんぜひ使ってみてその使い勝手の悪さをまずは経験してみてください。

さて、いろいろ述べてみましたが、今もう1回申し上げると、キーワードは環境であり、信頼。いろんなデジタルトランスフォーメーションの中で成り立っているという世の中なんですね。「うーん、なるほど。持続性だよな。地方創生だよな。安心安全、安定だよな」と。これを実践するのが、今日お集まりの山形市、山形県のリーダーの皆さま。そしてその皆さまがどうやってやるのかというのがやっぱり肝ですね。さあ、どうやるか。こうやりますか？それとも、こうやりますか？ご清聴ありがとうございました。

本日出席 (9 / 6)	会員総数	出席会員数
	99名	42名 + ズーム参加37名